



樋すみ江 議員

福井県の高浜原発

Q 再稼働に対する見解を求める

A 原発に依存しないエネルギー社会の構築が喫緊の課題と考える

問 第6期計画(27~29年度)で「介護保険準備基金」の中の4,261万円を使って保険料252円を軽減する」としていたが、実際に使う金額は計画より少なくなる。実効性ある計画で基金を計画通り使えば保険料はもつ

高齢者保健福祉計画 および介護保険事業 計画

答 (町長) 愛知川庁舎から直線距離約75kmと比較的遠い位置にあるが、事故が起これば放射性物質が琵琶湖に飛散し、被害をもたらす可能性もある。原発に依存しないエネルギー社会の構築が喫緊の課題と考える。

問 28年3月、大津地方裁判所が高浜原発3・4号機の運転停止を命じる仮処分決定をしたが、29年3月に大阪高等裁判所が再稼働を認めた。5月17日に4号機が再稼働した。
「高浜原発の再稼働に対する見解」を求める

高浜原発の再稼働

答 (長寿社会課長) 介護保険料の余剰金を介護保険準備基金に積み立て、保険料収入が不足する場合には基金の中から使う。第6期は、28年4月に見込んでいた小規模特養開設が9ヵ月遅れの12月になり、見込んでいたサービス給付費が大幅に減少した。

と安くなったと考える。そうなった原因は何か。

問 第6期計画の検証を土台にして第7期計画が立てられるべきだ。
第6期の重点目標①~⑤の検証結果を求める。



長塚地域総合センター「はつらつ教室」

答 (長寿社会課長) ①「介護予防の充実」では、介護予防事業の効果を定期的に評価・検証し改善する。
②「在宅介護サービスの充実」では、ケアプランチェック等を行い、事業所への指導・監督を実施する。
③「高齢者の生活支援・見守り体制の充実」では、医療と介護の連携強化・在宅看取りの意識の浸透と体制づくりに特に力を入れる。
④「認知症対策の充実」では、認知症サポーターが活躍できる機会や仕組みづくりを作る。
⑤「生きがいや余暇の充実」では、自治会・関係機関と連

児童保育

問 来年度以降も、行政の責任で4小学校の児童保育所に平等の対応を行う事を求める。

答 (子ども支援課長) 放課後児童健全育成事業として取り組む児童保育所には、責任を持って対応する。

就学援助

問 文部科学省からの通知で、要保護児童・生徒の「新入学児童学用品費等の一部見直し」と「入学する年度の開始前に支給した新入学児童生徒学用品費等を国庫補助対象にできることになった」との文書を受け、どのように対応するのか。

答 (教育管理部長) 補正予算と支給要綱の一部改正を行い、今年度から6月に支給する。

安心・安全なアレルギー対応給食

Q 学校でのアレルギー対応食の工夫と配慮は

A 全職員の研修と配膳時の複数チェックを徹底



徳岡 文治 議員

安心・安全なアレルギー対応給食

問 食物アレルギーは、命にかかわる症状を引き起こすこともあることから本町では、食物アレルギー疾患を持つ園児・児童または生徒に対して等しく学校給食を提供するためにアレルギー対応食提供事業を実施している。以下について問う。
①誤食防止のために学校・園などの現場でどのような工夫と配慮がされているか。
②アレルギーのある園児・児童・生徒と他の園児・児童・生徒に対する啓発と指導はどのようにされているか。

答 (教育管理部長) ①について
●まず、全職員を対象としてアレルギー対応の研修会を実施し、情報の共有と誤食防止の徹底を図っている。
また、アレルギー対応食、家庭からの持参食を職員室に掲示し、全職員の注意喚起を図っている。
●アレルギー対応食の配膳は、他の園児・児童・生徒に先駆

けて一番はじめに行っている。

●幼稚園、小学1年生の持参食は、保護者あるいは園児が職員室に持参し、冷蔵庫に保管し、給食前に確実に支援員が担任に手渡ししている。小学2年生以上の児童は、職員室に持参し、同様の対応としている。

●配膳時は担任教諭、支援員、他の教員による複数チェックを徹底している。具体的には、アレルギー対応食提供のチェックとして、「献立表の保護者のチェック」「個人メニューカード」「対応食」により確認を行っている。

●給食開始前、児童が食べる直前にも、「献立表の保護者のチェック」「個人メニューカード」「対応食」に間違いがないか再度確認を行っている。

●さらには、学級担任が給食後の対象園児・児童・生徒の健康観察を行うと共に、昼休み終了後においても学級担任が健康観察を行っている。

②について

●食物アレルギーのある園児・児童・生徒に対しては、アレルギー疾患について、子ども自身が理解し、自分自身を守るための力(伝えられる力や選択できる力)をつけるように啓発と指導をしている。即ち、自分が食べてはいけない給食について、しっかりと「食べてはいけない。食べたらアレルギーがでる」

ということと言える力がつくように啓発と指導をしている。
●他の園児・児童・生徒に対しても、アレルギー疾患について正しい理解をし、命にかかわることであることを啓発指導している。

なお、新入園児、新入学児童・生徒には、リーフレットを使用し指導をしている。

携し、高齢者が活動しやすい環境整備に努め、地域の居場所づくりに取り組む。



アレルギー対応食配膳時チェック